

山里の自然や行事 写真に 岡崎で作品展

岡崎市山間部の千代田、木下両町の魅力的な自然や行事を題材にした「山里のお宝」



山里の魅力的な自然や行事を写した応募作品—岡崎市千代田町で

「オトコンテスト」(中日新聞社後援)の応募作品展が、千代田町の旧千代田小学校で開催されている。三月五日までの土、日曜日のみ。

両町の住民でつくるふるさとづくり委員会が毎年開き、七回目。今年には市内や名古屋、西尾市などの十三人から四十三点の応募があった。

ミツマタの群生地など豊かな自然を写した作品が多く、都市部の人を招いて五平もち作りなどを体験してもらうイベントのにぎやかな様子を切り取った作品も並ぶ。

最優秀の岡崎市長賞に輝いたのは、岡崎市

牧平町の池田宏さんの「まき割り体験」。山里体験のイベントに参加した親子がまきを力強く割った瞬間をとらえている。

委員長の荻野嘉美さんは「今年には山里体験の参加者からも写真の応募があった。この地域を好きになる人が増えればうれしい」と話していた。

地元住民が持ち寄ったひな人形約二百五十点や手作りのつるし雛も展示している。

(森田真奈子)

◇他の主な入賞者のみなさん

- 市議長賞 下川清光(西尾市)▽市教委賞 本多忠夫(幸田町)▽中日新聞社賞 久志本里美(岡崎市)